

令和7年度 第29回宮城県障害者技能競技大会 (アビリンピックみやぎ2025)

《 製品パッキング種目 競技課題 》

1. 製品パッキング競技とは

商品^{しょうひん}を梱包^{こんぱう}するための箱^{はこ}や緩衝材^{かんしょうざい}の組み立て^{くみたて}と、それぞれの組み込み^{くみこみ}を行う競技^{おこな}です。

2. 競技課題^{きょうぎ かだい}について

課題 ^{かだい}	内 容 ^{ない よう}	作成数 ^{さくせい すう}	競技時間 ^{きょうぎ じかん}
1	緩衝材 ^{かんしょうざい} の作成 ^{さくせい} ・結束 ^{けつそく}	20セット (4束 ^{たば})	30分 ^{ふん}
2	商品 ^{しょうひん} を入れる箱 ^{はこ} の作成 ^{さくせい} と梱包 ^{こんぱう} 作業 ^{さぎょう}	3梱包 (3箱 ^{はこ})	50分 ^{ふん}

※ 課題1で作成した緩衝材^{かんしょうざい} (完成品^{かんせいひん}) は課題2で使用^{しよう}します。

※ 説明図^{せつめいず}の折りかた^おは一例^{いちれい}です。他の折りかた^{ほか}や手順^{てじゆん}でも、品質^{ひんしつ}に影響^{えいきよう}がなければ、審査^{しんさ}の減点対象^{げんてんたいしやう}にはなりません。

3. 競技^{きょうぎ}のながれ

競技全体 ^{きょうぎ ぜんたい} の説明 ^{せつめい}	5分 ^{ふん}
---	------------------

※ 競技当日^{きょうぎ とうじつ}に練習^{れんしやう}する時間^{じかん}は設^{もう}けていません

課題 1 ^{かだい}	説明 ^{せつめい}	5分 ^{ふん}
	材料 ^{ざいりやう} の確認 ^{かくにん} ・準備 ^{じゆんび} (各自 ^{かくじ})	5分 ^{ふん}
	競技 ^{きょうぎ}	30分 ^{ふん}

休憩 ^{きゆう けい}	※ 課題1 ^{かだい} 審査 ^{しんさ} ・採点 ^{さいてん}	35分 ^{ふん}
----------------------	--	-------------------

課題 2 ^{かだい}	説明 ^{せつめい}	5分 ^{ふん}
	材料 ^{ざいりやう} の確認 ^{かくにん} ・準備 ^{じゆんび} (各自 ^{かくじ})	10分 ^{ふん}
	競技 ^{きょうぎ}	50分 ^{ふん}

4. 競技時^{きょうぎ じ}の服装^{ふくそう}

1) 手袋^{てぶくろ}を着用^{ちやくよう}

作業着^{さぎやうぎ}や運動着^{うんどうぎ}などの動きやすいもの (スカート^{たん}や短パン^{たんぱん}、スリッパ^{ふむ}やサンダル^{さんだる}などは不向き)

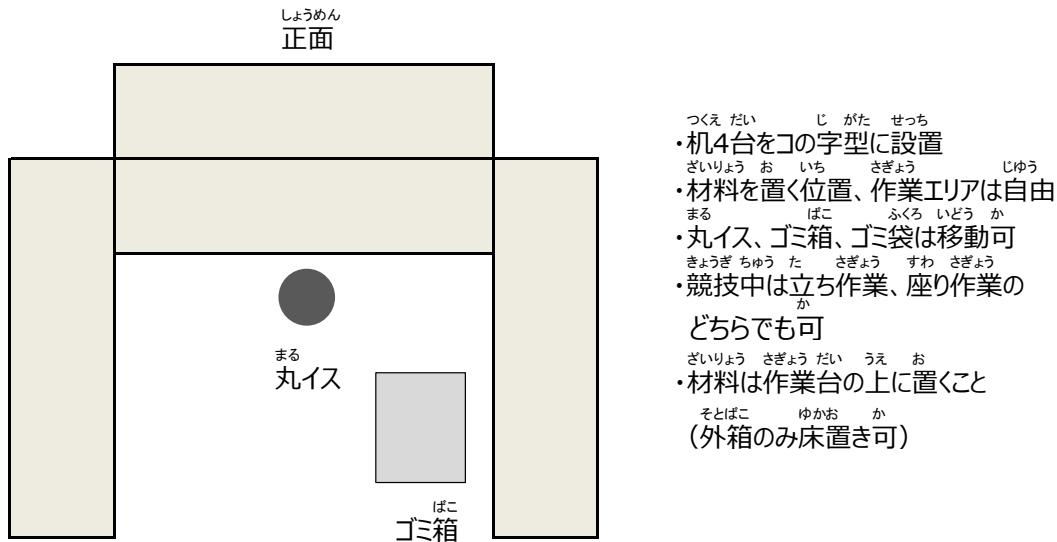
2) 指輪^{ゆびわ}、ピアス^{そうしよくひん}などの装飾品^{はす}は外^もす、または持ち込^こまない

3) 指輪^{ゆびわ}、ピアス^{そうしよくひん}などの装飾品^{はす}は外^もす、または持ち込^こまない

5. 選手が用意するもの

- 1) 手袋 2双 (予備1双を含む)
- 2) 飲み物 (熱中症対策) ※競技中は作業する机の上に置かないこと

6. 競技レイアウト



7. 審査の主なポイント (課題作成の詳細は競技課題の説明図を参照)

課題1 緩衝材の作成・結束

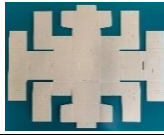
①	制限時間と作業スピード	・ 30分以内に20セット (4束) 作成
②	緩衝材の向き	・ 説明図通りの向きに揃える
③	結束の品質	・ 結び目の大きさ: 8cm以内 ・ 緩衝材の端から結束までの間隔: 10cm以内 ・ ひもを持ち上げたとき、ひもと製品の間隔: 5cm以内
④	外観の品質	・ しわ、やぶれ、キズ、汚れ、へこみ、ゆがみがない
⑤	材料・作成品の置き場所	・ 作業机の上に置く

課題2 商品を入れる箱の作成と梱包作業

①	制限時間	・ 50分以内に3梱包 (3箱) 作成
②	外観の品質	・ しわ、やぶれ、汚れなどがない
③	緩衝材、箱の組み込みの向き	・ 説明図通りの向きに揃える
④	OPPテープの貼り付け	・ 説明図通りの貼り位置、長さ
⑤	材料・作成品の置き場所	・ 床に直置きしない (外箱のみ可)
⑥	清掃	・ 終了時、型抜きのかずや紐が作業机の上や床にない

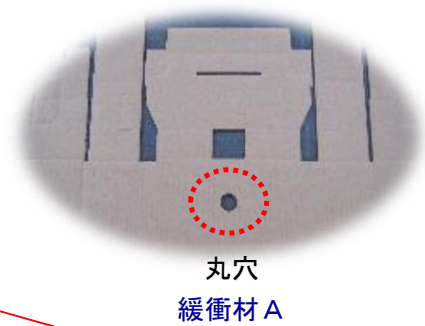
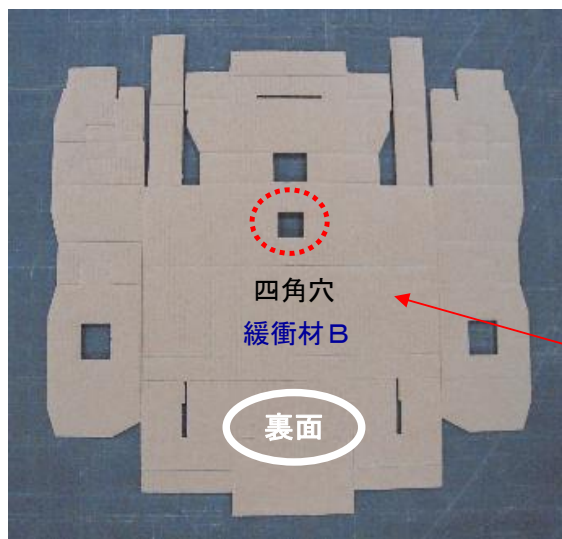
8. 競技資材について

競技時、作業エリアに準備されているものは以下のとおり。

かだい 課題	ざい 材	りよう 料	すうりよう 数量	たんい 単位	び こう 備 考
1	かんしょうざい 緩衝材A (○)		20	まい 枚	
	かんしょうざい 緩衝材B (□)		20	まい 枚	
	けっそく よう 結束用ひも		1	まき 巻	10ページ参照 さんしょう
	くちばし ^{がた} 型カッター		1	ほん 本	オープン工業 あんぜんひもきり 安全紐切AH10 こうぎょう
2	そとばこ 外箱		3	まい 枚	
	こばこ 小箱		12	まい 枚	
	なかばこ 中箱		12	まい 枚	かたぬ まえ 型抜き前のもの しゃしん かたぬ ご (写真は型抜き後)
	けしょう ばこ み 化粧箱 身		12	まい 枚	かたぬ まえ 型抜き前のもの しゃしん かたぬ ご (写真は型抜き後)
	けしょう ばこ 化粧箱 フタ		12	まい 枚	かたぬ まえ 型抜き前のもの しゃしん かたぬ ご (写真は型抜き後)
	OPPテープ		1	まき 巻	テープカッター ^つ 付き 26ページ参照 さんしょう
きょうつう 共通	ごみ ^{ばこ} 箱		1	はこ 箱	かたぬ 型抜きくずなどの紙 ^{かみ} ごみ い を入れる
	ごみ ^{ふくろ} 袋	とうめい 透明 ^{ふくろ} ビニール袋	1	ふくろ 袋	けっそくよう 結束用ひも、OPPテー プなどのくず ^い を入れる

きょうぎ か だい 【競技課題 1】 かんしょうざい くみたて けっそく 緩衝材の組立・結束

てん かい ず
展 開 図



※緩衝材は2種類あります

※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

かん せい ず
完 成 図

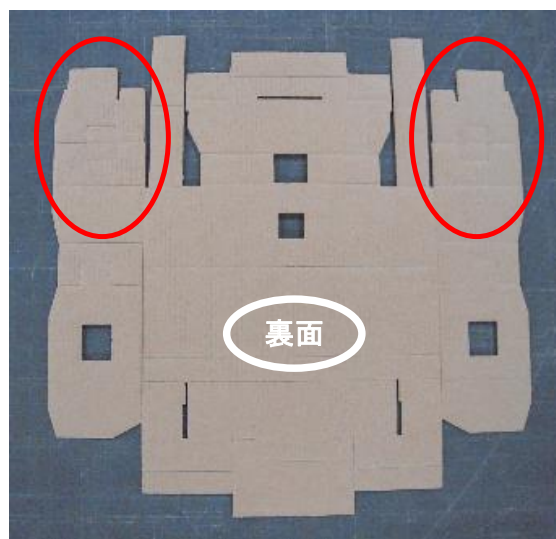


くみたて かんせいず
組立完成図

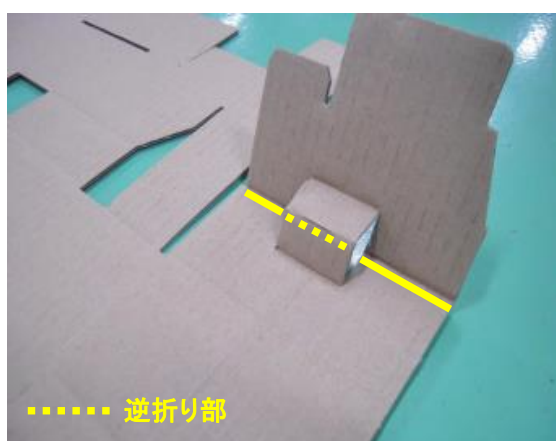


けっそく かんせいず
結束完成図

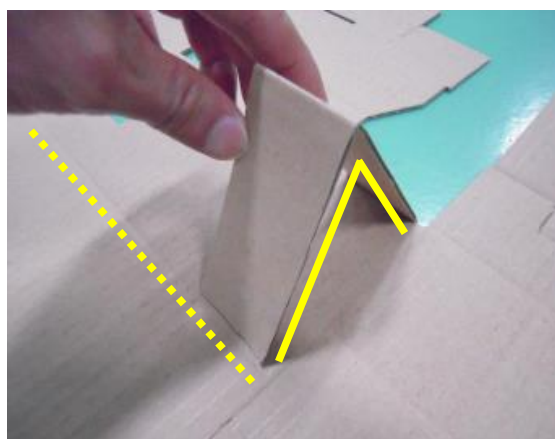
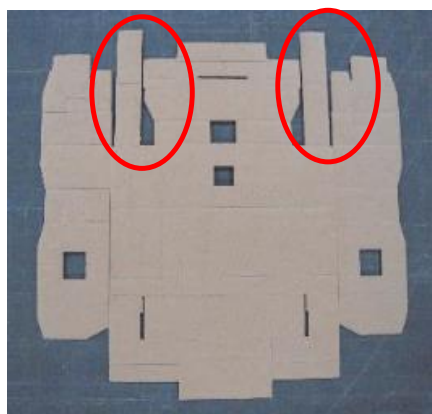
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な
 折り方は共通です。(写真は緩衝材B)
 緩衝材の裏面を上にし折ります。
 最初に○印の箇所から折ります。



2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



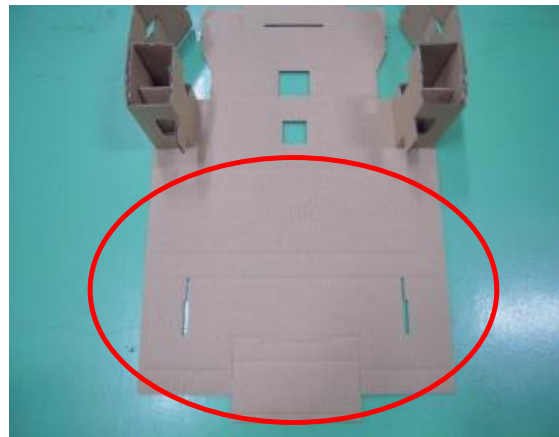
3. ○部を点線部分の罫線に合わせ折り込み
 三角をつくる。



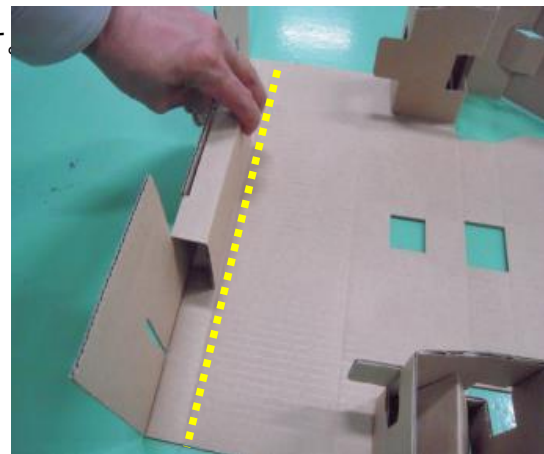
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



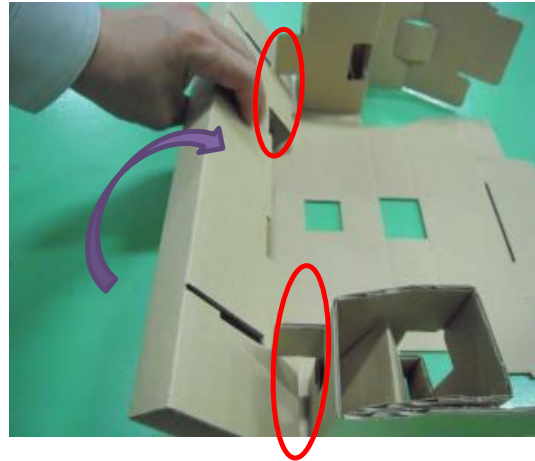
5. ○で囲んだ部分を折ります。



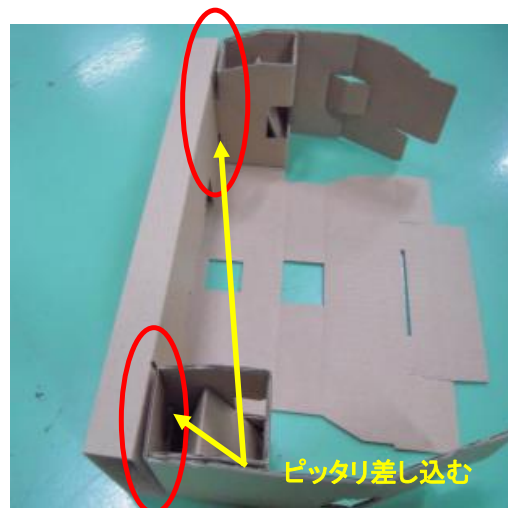
6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折ります。



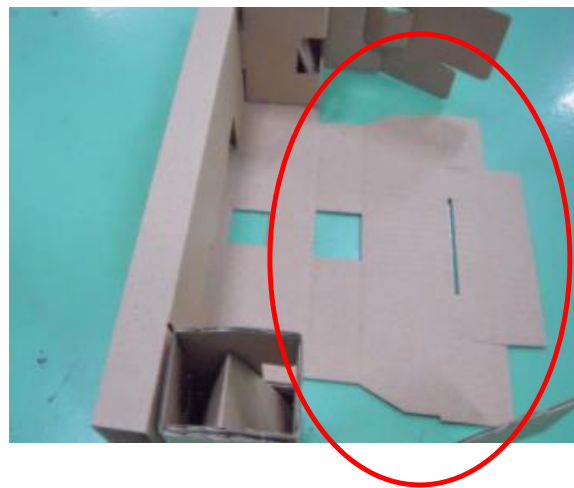
7. ^{りょうはしせんたんぶ}両端先端部を^お折り込み、^{ぜんたい}全体を^{やじるし}矢印方向^{ほうこう}に^{たあ}立ち上げながら^{おこ}折り込む。



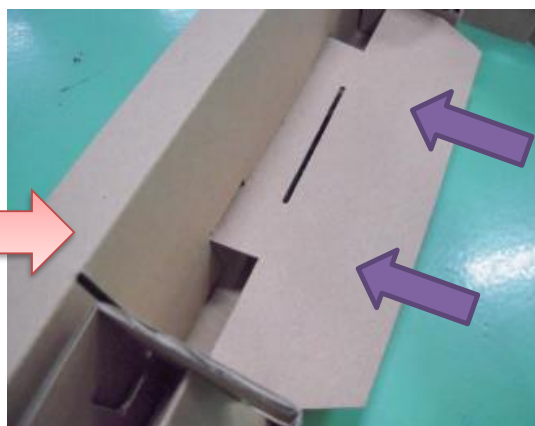
8. ^{あな}穴部に^{そでぶぶん}袖部分の^{とつぶぶん}凸部分を^{さしこみ}差し込ながら^{ぜんたい}全体を^{たあ}立ち上げ^{おこ}折り込む。



9. ○で^{かこ}囲んだ^{ぶぶん}部分を^お折ります。



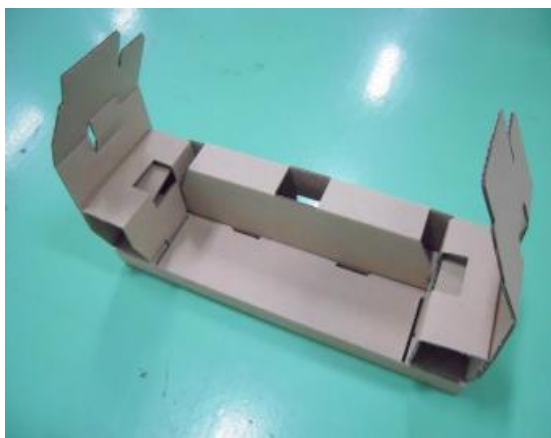
10. 先端部^{せんたんぶ}3か所^{しよ お}を折りながら矢印^{やじるし ほうこう}方向に折り込む。



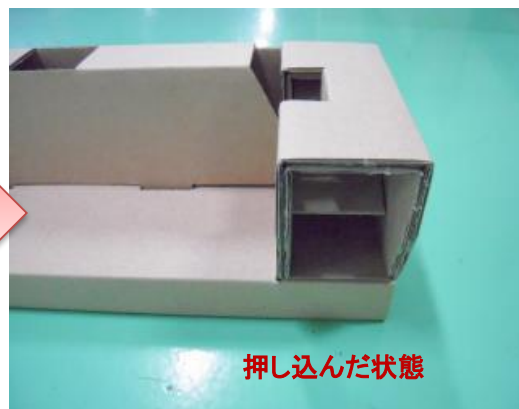
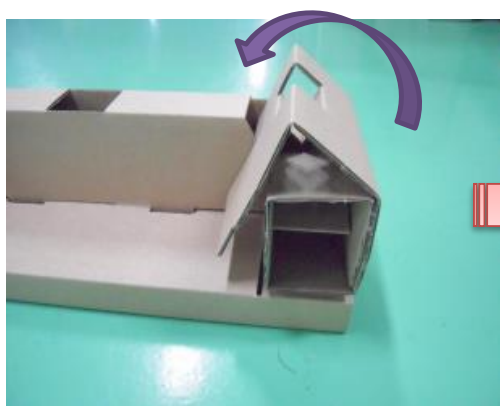
11. 全体^{ぜんたい}を折り込み、本体^{ほんたい}にピッタリとお^お押し込む。



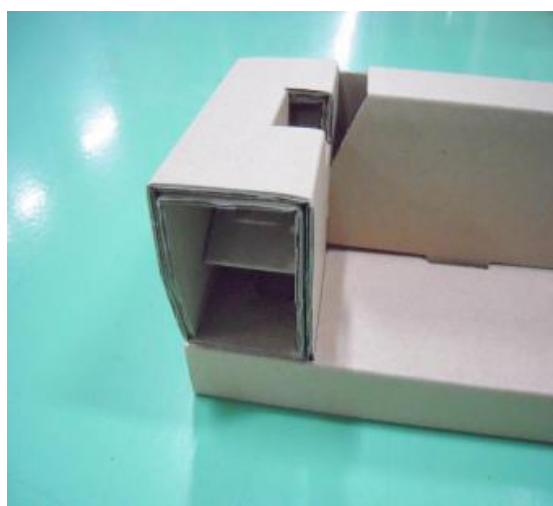
12. 袖部^{そでぶ}が上^{うへ}にくるように向き^むを変^かえる。



13. 袖部を罫線に合わせて折り込み、先端部を本体に差し込む。



14. 反対側も同様に、本体に差し込む。



15. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認し完成。これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ5個ずつ完成させる。



16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。

(けっそくひも) しんえつこうぎょう
【結束紐】信越工業 SKテープNo.70



17. 設置した結束紐の上に緩衝材5ヶを
結束紐が端側位置にくるように置く。
置く際は○口穴が下にくるように置く。



18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材
(○穴であれば□穴、□穴であれば○穴)
を5ヶ、穴が上にくるように置く。



19. 緩衝材の端から10cm以内の角で
結束する。結び方は自由。
ただし、8cm以内の結び目で容易に
解く事が可能な結び方にする。
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐
の間隔が5cm以内になるようにする。
- ※課題2では、自ら作成した製品の
紐を解いて使用します。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の
端にくるように設置する。



21. 緩衝材の角で結束し完成。



※例として横に置いた状態での結束方法を紹介していますが、

縦に置いた状態での結束でもOKです。

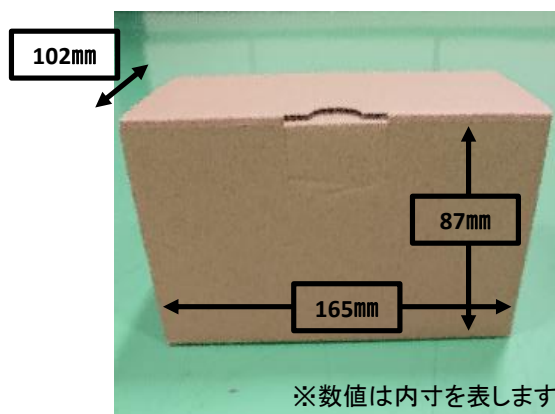
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（1）

小箱展開図



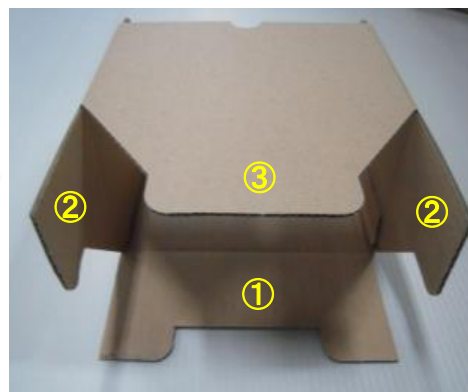
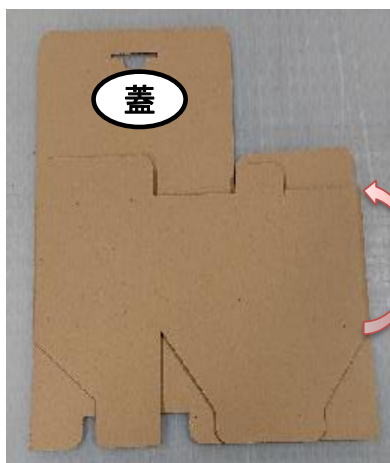
※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

小箱完成図



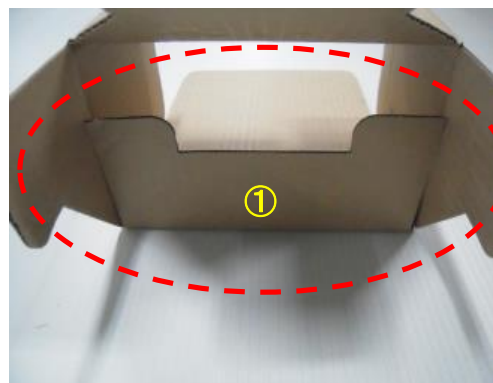
※ロック部分が追加になりました

1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。

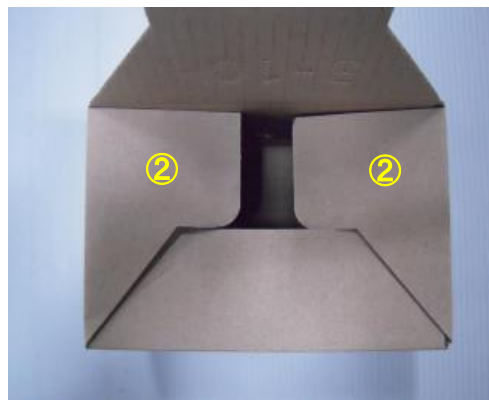


本体を立ち上げた状態

2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。



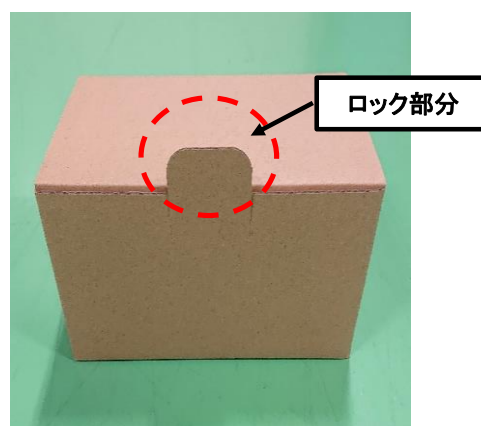
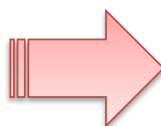
3. ②のフラップ2か所を内側に折る。



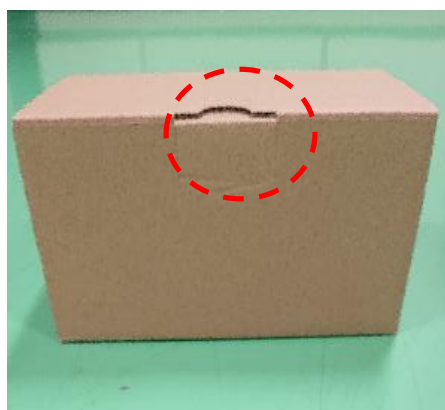
4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。



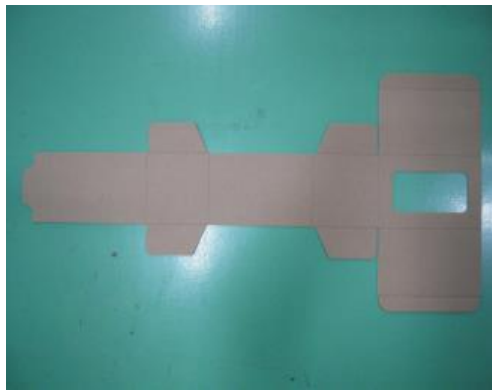
5. 底部を下にし、内フラップ2か所を内側に折り、蓋をする。



6. 最後にロック部分を挿入し完成。



なか はこ てん かい ず
中 箱 展 開 図

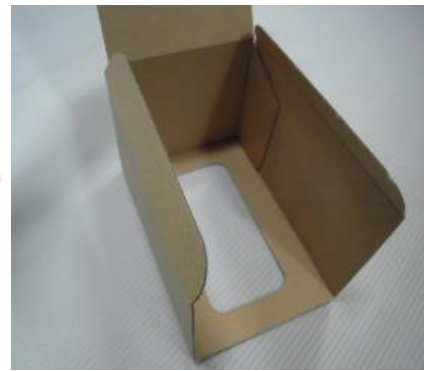
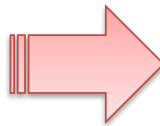
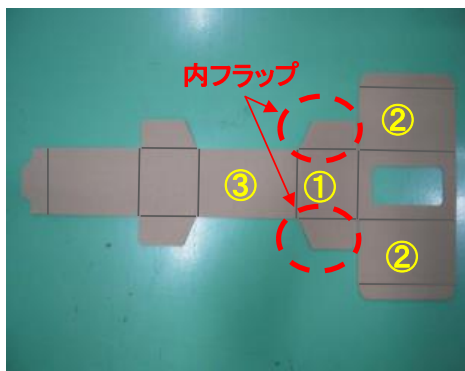


なか はこ かん せい ず
中 箱 完 成 図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業
が必要となります

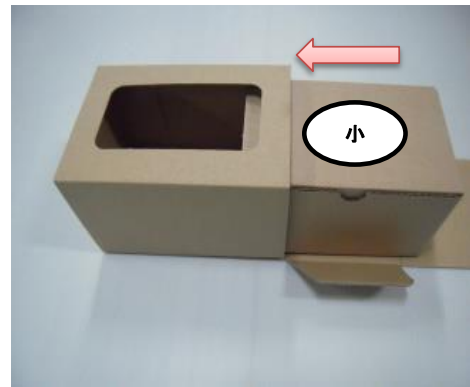
7. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折り
その後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



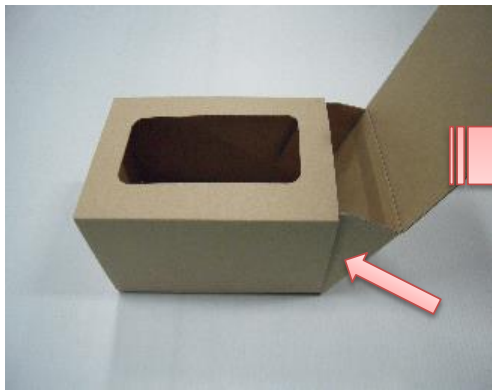
8. ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、
③の部分を下に向きを変える。



9. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。
 その際、中箱の穴から小箱の底が見えないよう
 に小箱の向きに注意する。



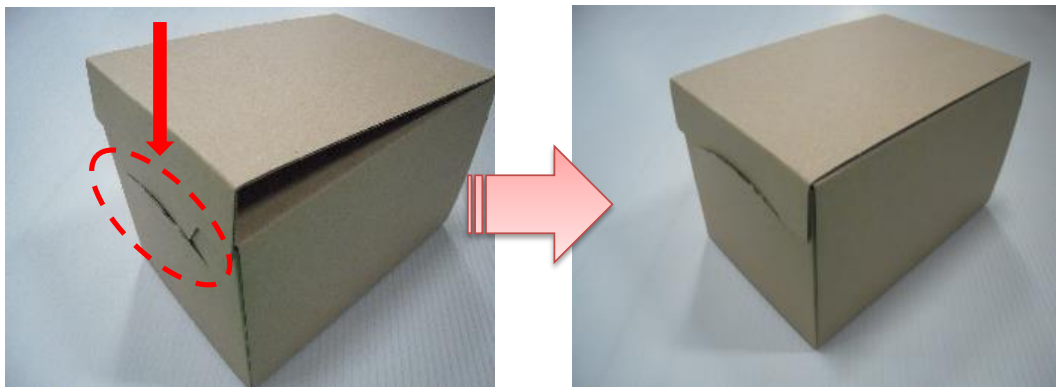
10. フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中に
 折り込む。



11. 中箱の天面を本体に向かって折る。

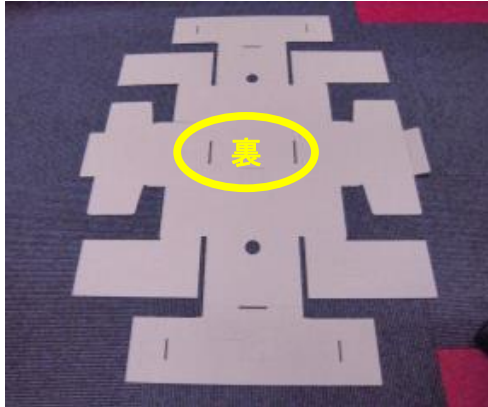


12. 最後に天面先端の差込部を本体の
切れ込み部に挿入し完成。



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（2）

化粧箱身展開図

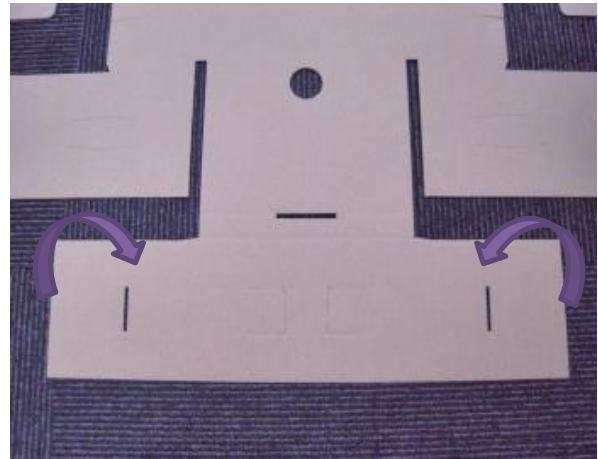
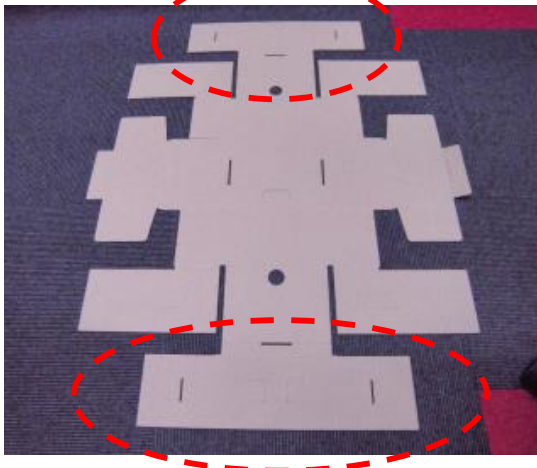


- ※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
- ※競技材料はカットのみの材料です。そのため
屑取り作業が必要となります

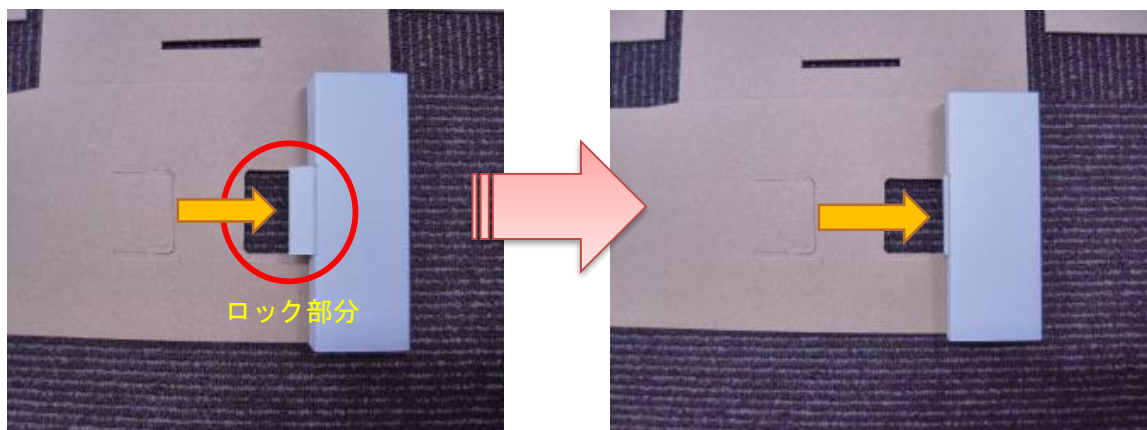
化粧箱身完成図



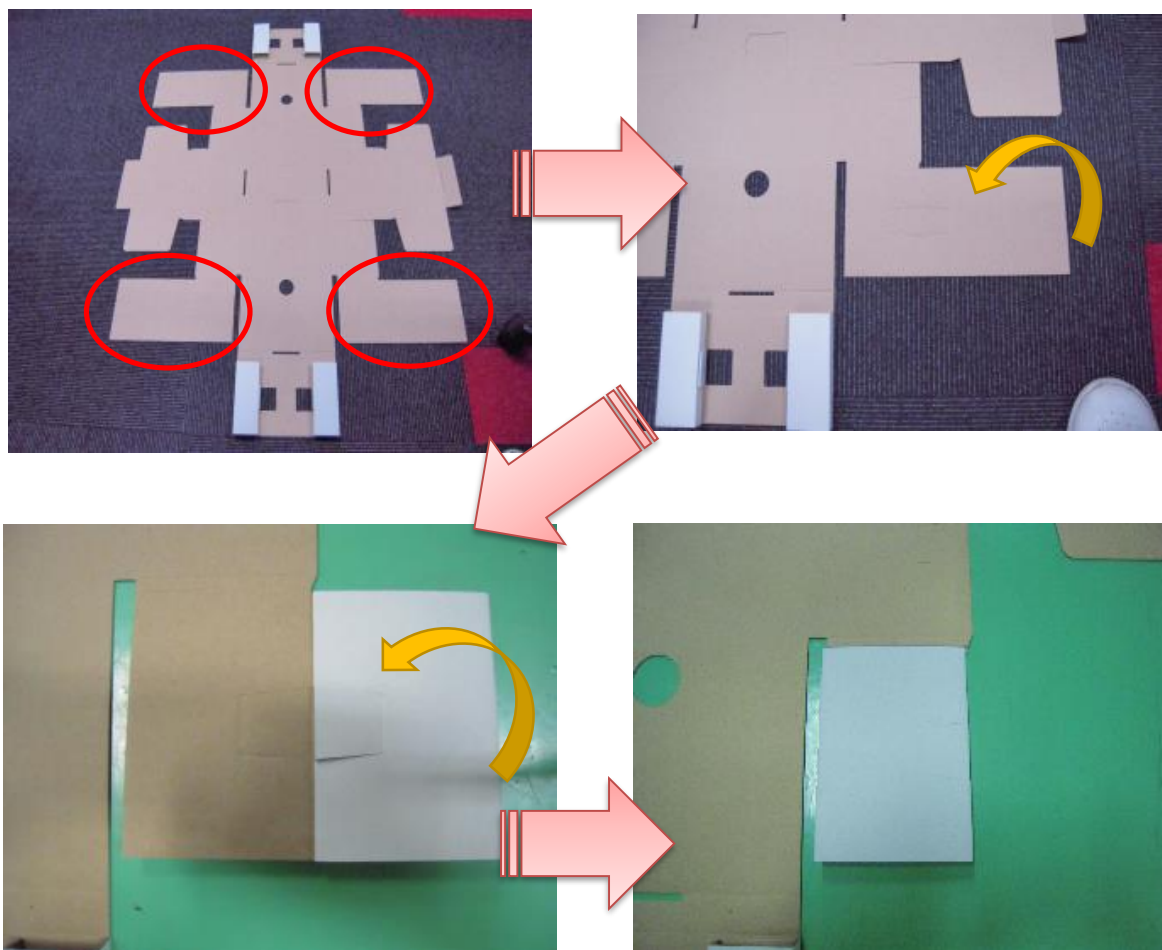
1. はじめに丸印の部分から折ります。
端の部分を内側に巻くように罫線に合わせ
お折る。



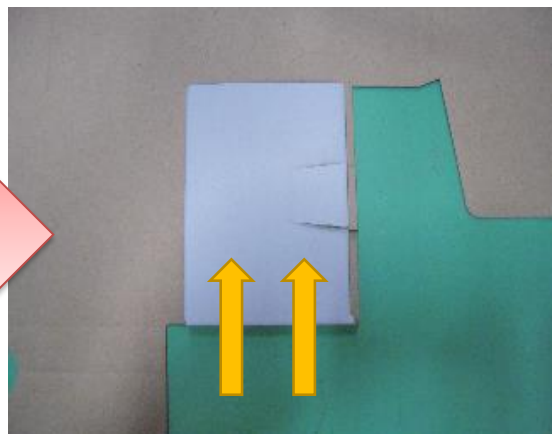
2. 折った部分の穴に、ロック部を^お下から^{ぶぶん}立ち上げ^{あな}差し込む。
これを計4か所、同様に折る。



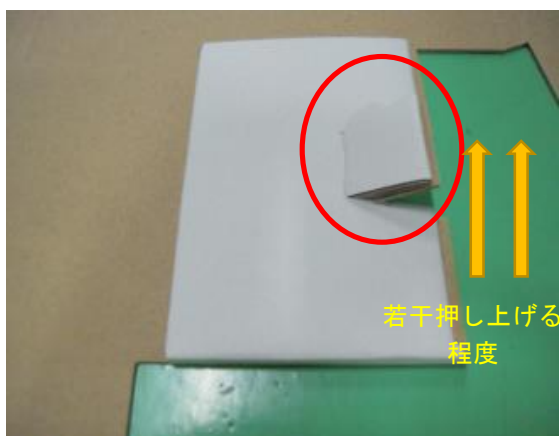
3. 丸印の部分を端から罫線に合わせ内側に^{まるじるし}折る。
^{ぶぶん} ^{はし} ^{けいせん} ^あ ^{うちがわ} ^お 折る。



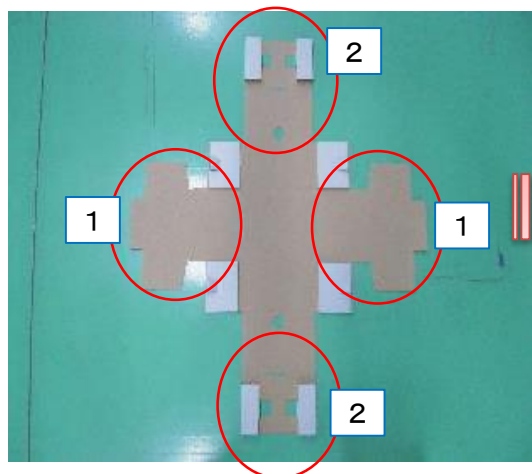
4. 本体中心に向かって罫線に合わせ折る。
ほんたいちゆうしん む けいせん あ お



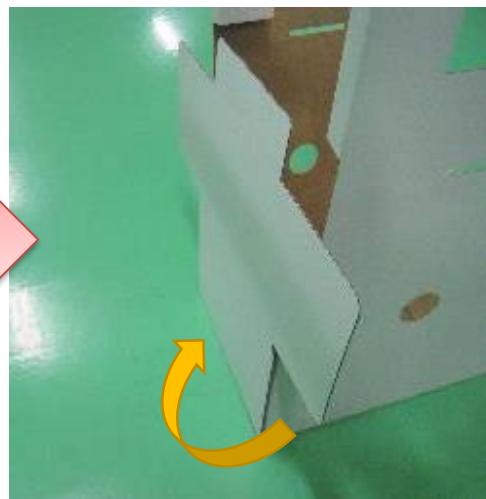
5. ロック部分を下から押し上げロックする。
ぶぶん した お あ
かくぶ けい しょう どうよう お
 これを各部、計4か所同様に折る。



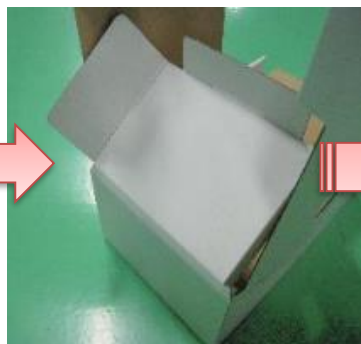
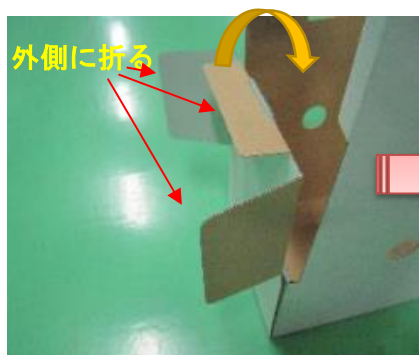
6. 2の部分を持ち上げる。
ぶぶん た あ



7. フラップ^{ぶぶん}部分を内側^{うちがわ}に折り、1の部分^おを立ち上げる^{たあ}。



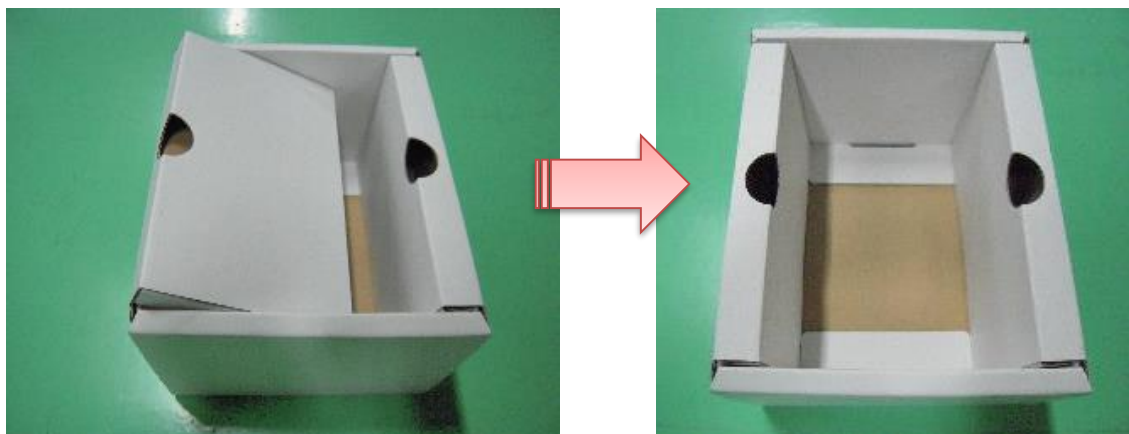
8. 1の部分^{ぶぶん}の先端^{せんたん}を外側^{そとがわ}に3か所^{しよ}折り、本体^{ほんたい}内側^{うちがわ}に折り込む。反対側^{はんたいがわ}も同様に折る。



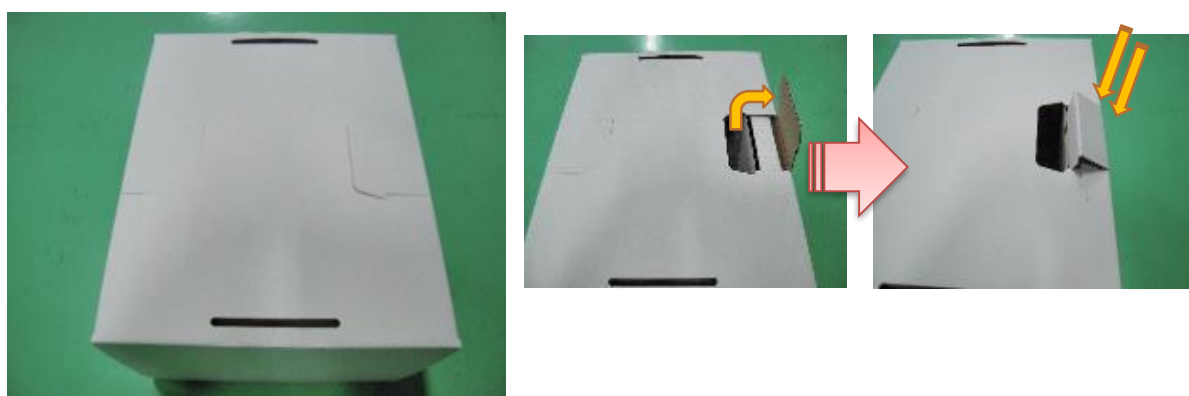
9. 2の端^{はし}の部分^{ぶぶん}から罫線^{けいせん}に合わせ折り、額^おの部分^{がく}が平らになるまで中^{なか}に折り込む。



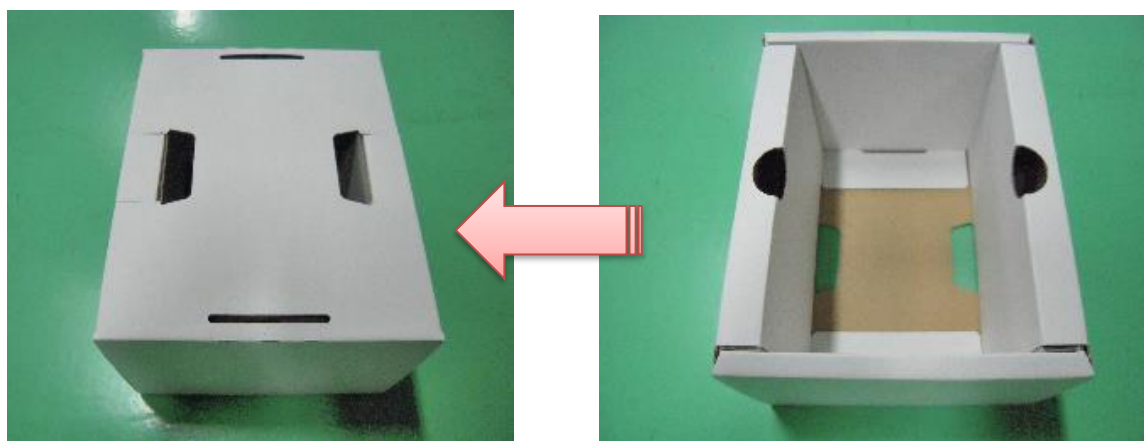
10. 反対側も同様に折る。
はんたい がわ どうよう お



11. 裏(下)側を上にし、ロック部分を裏側から
うら した がわ うえ お だ あな そうにゆう
 押し出し、2の穴に挿入する。
はんたい がわ どうよう あな そうにゆう
 反対側も同様に穴に挿入する。

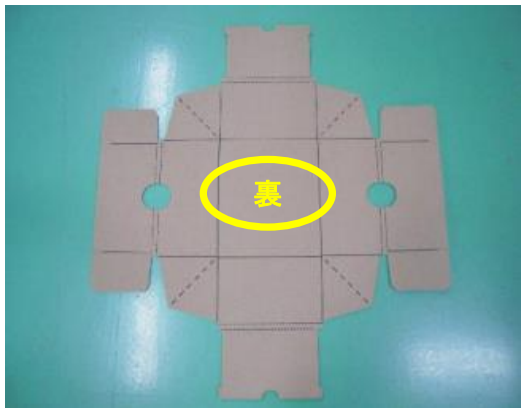


12. 2か所のロックが出来たら、底部を
しょ でき そこ ぶ
 下に向きを変え完成。
む か かんせい



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（3）

化粧箱蓋展開図

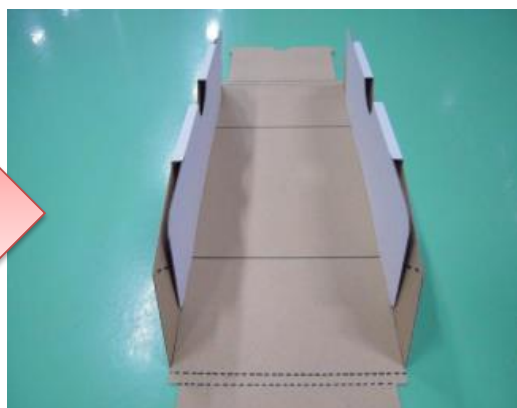
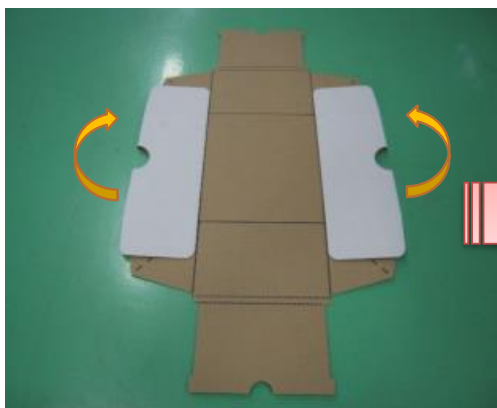


化粧箱蓋完成図

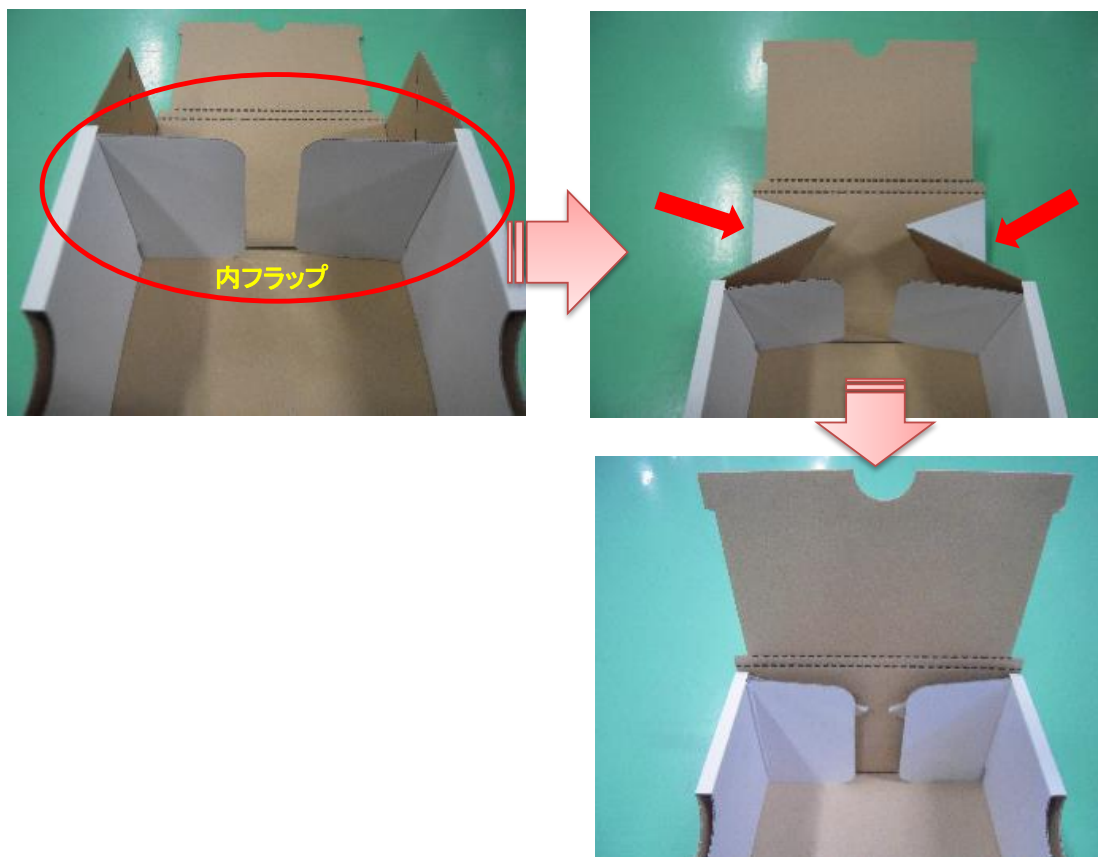


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため
屑取り作業が必要となります

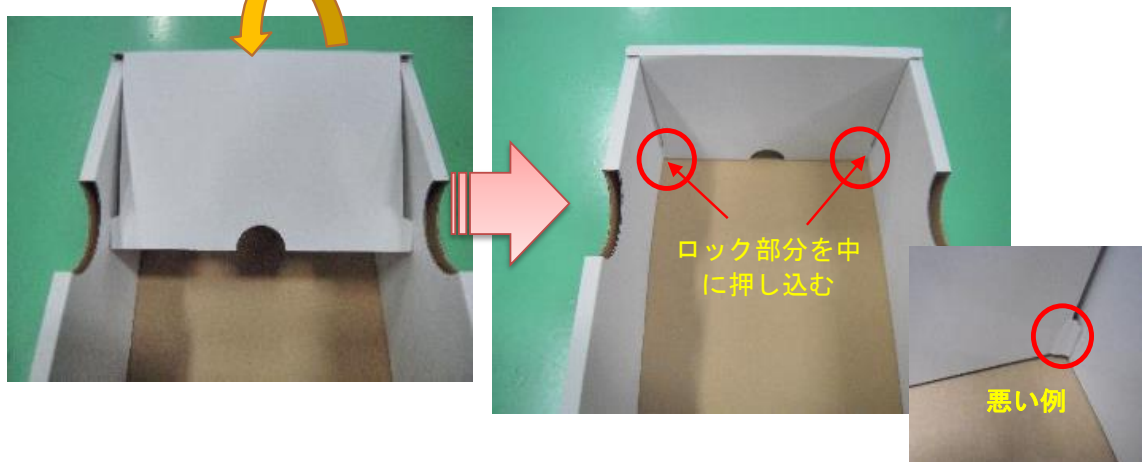
1. 額部分を内側に折り、額部分全体を
立ち上げる。



2. 内フラップを内側に折る。
 その後、外側フラップのミシン目を
 内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を
 中に押し込む。

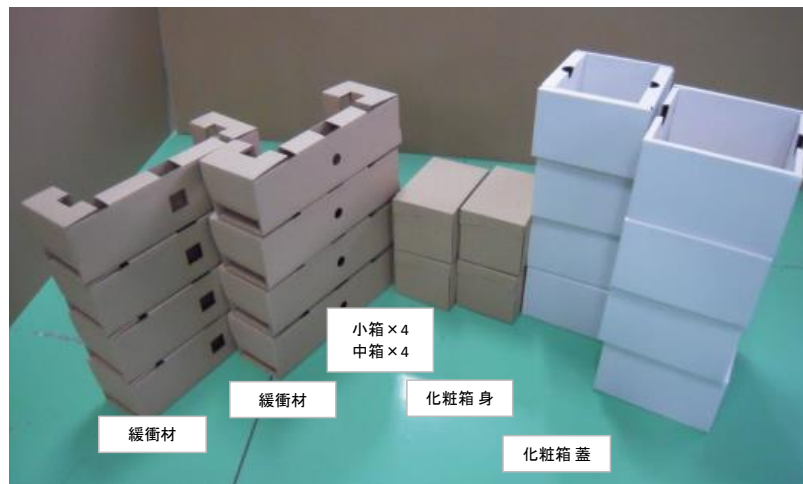


4. 反対側も同様に折り完成。
はんたい がわ どうよう お かんせい



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（4）

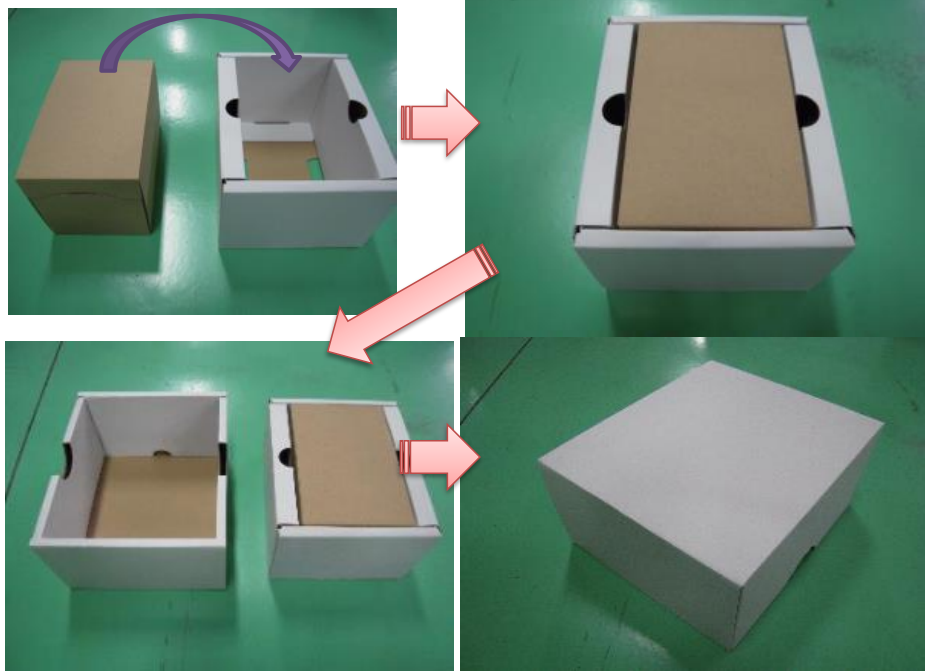
梱包部品一覧



※上記部品を外箱にセットアップし梱包します

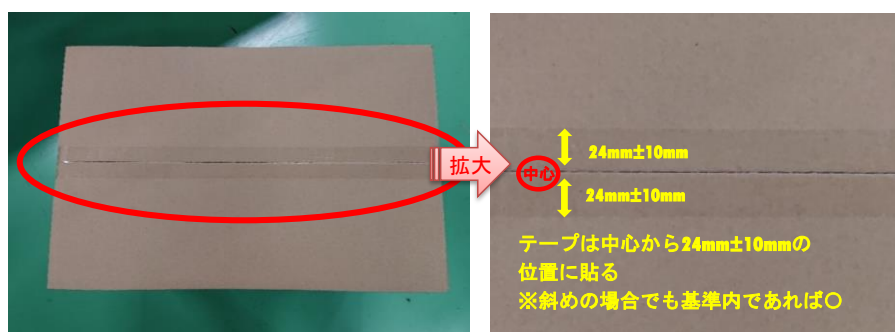
※緩衝材は紐で結束された状態で配布され競技中に紐を解き使用します

1. 化粧箱 身に小箱が入った中箱を入れ、
蓋をする。これを4ケース作成する。

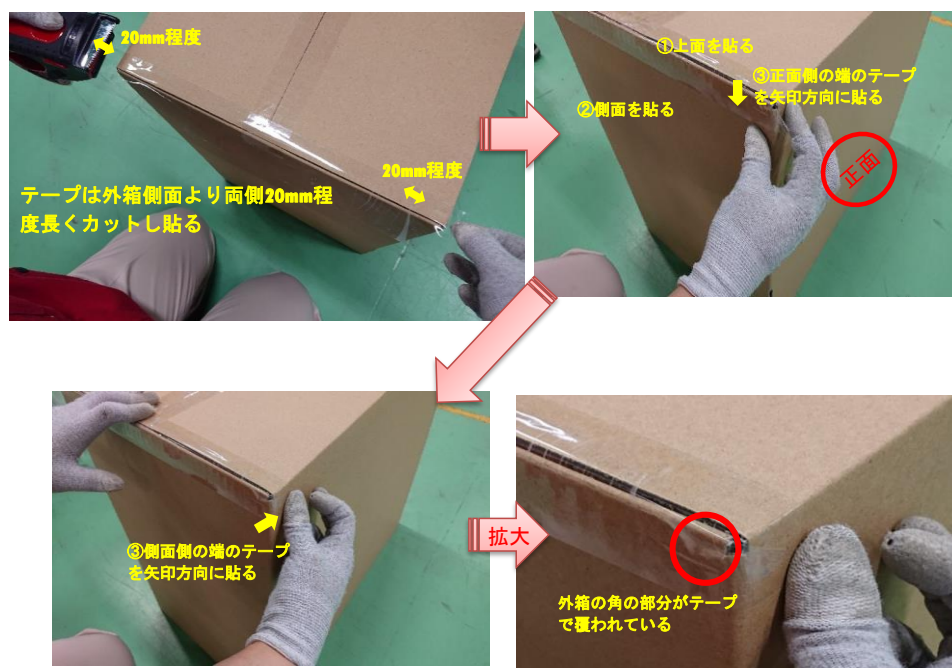


2. 外箱を組み立て底部を包装テープで貼り封をする。

① 外箱の底部を組み立て、中央部を包装テープで貼り封をする

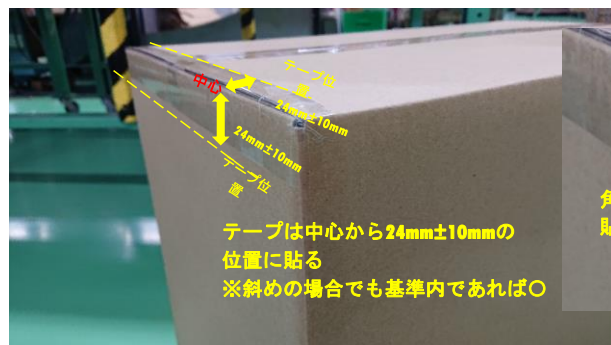
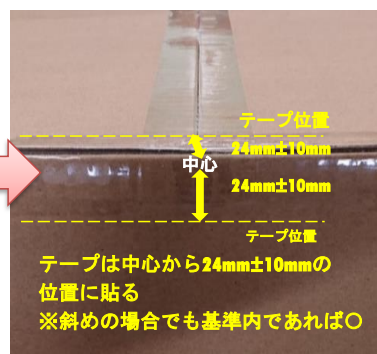


② 外箱の側面側を包装テープで貼る





拡大



3. 底部を封をした外箱の中に緩衝材を○または口が外側になるように各2ヶずつ設置し、化粧箱を入れる。



※緩衝材A側には化粧箱を縦に設置する



※緩衝材B側には化粧箱を横に設置する

4. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うように
それぞれ設置する。



5. 外箱の上部を折り敷き紙の上に置く

※上部はテープを貼りません



※写真は4ケースですが、今大会は3ケースと
なります